

戦争のことについて

古堅中学校 二年五組 池原 遥奏

私はたまたまに戦争とはなにか、なんでおこるのかと思っ
てしまいました。

なぜなら、日本でも過去に何回も戦争がおこ
ってきています。戦争とはいくさ。特に国家間で、
お互いに自分の国の意志を相手の国に強制す
るために、武力を用いて争い、たたかうこと
のことです。歴史の教科書にのるくらい、大昔
におきた戦争もあるのですか、いちばん最近
におきた戦争のことについて話していきたく
と思います。

それは、いまから七十四年も前のことであ
り、みんなが知っているアメリカとの戦争です。

それのおもな原因は、人種差別といわれてい
ます。人種差別とは、人間を人種や、民族、
国籍、地域において、その特定の人たちに対
して、いやがらせ、暴カやいじめなどの行為や
差別することです。けれど、差別的思想を持
つ者のことを「人種差別主義者」と言うこと

るもあります。

南アフリカ共和国では、分離、隔離のことを
を「アパルトヘイト」といいます。

実際に昔から今でも人種差別はどこかの国で
もおきていることです。黒人のアフリカなど
の国は、アメリカなど白人の多い国などか
ら人種差別されていて、日本人も黄色人種な
どいわれて差別されています。だから、戦争
に「なが」たと思えます。

アメリカとの戦争が始まったのは、一九四
五年の三月二十六日に起りました。一方は
んびがいの大まいのは沖縄です。

沖縄戦が始まったのは一九四五年四月一日
から一九四五年六月二十二日までの約二ヵ月
間です。なんで沖縄が戦場になっただのかとい
うと、日本に攻められたら困ると考えて、沖
縄になるべく米軍をひきとめて時間をかせぎ
うという「持久戦」という戦争を日本はたて
ました。

沖縄で最初の大まなびがいは一九四四年の

十月の、10、10空襲^レです。それで亡くなった人の人数は軍人もあわせて六六八人だそうです。

戦争はぶっつう、軍隊は軍隊、軍人と軍人が戦うけど、沖縄戦では、10代前半の子どもも含まれ住民が足りない軍人の代わりや手伝いをさせられていました。軍人も武器をもたない住民も、まざったまま地上戦がつづき、日本軍が南部に追いつめられてからは特に、米軍の無差別なこうげきには、軍人も、住民も次々

と命をうばわれていきました。こうしたこと、軍人より住民の方が多くの命を失ったというです。沖縄戦の教訓として、軍隊は住民を守りなかつた^レと語りつがれていきます。日本兵に命を助けられた人もいます。日本兵に命をおかされた人、スペインとみなされて、実際に命をうばわれたりした人たちがたくさんいます。それによつて、米軍側は一五二五二十人亡くなり、日本側はその十五倍の、十八万八千百三十六人が亡くなったそうです。こんな

にもたくさんの死者を出してとてもかなしい
戦争でした。

なぜ戦争はなくならないのか。タモリさん
はこう言います。

人間の中に好きという感情があるから。そ
んなものがあるから、好きな物を他人からう
ばってしまおう。また、好きな物をうばったや
つをにくんでしまおう。

といていました。私もそう思っています。さ
せん日本では戦争をやめる活動をしていきます。

だから、みんなかなしい思いをしないように、
戦争をやめる、とめる活動がいろんな国でお
こるようになった。ほしいです。